

(別記様式第 15 号)

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

中野市

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	中野市多目的森林公園再整備事業 (木橋修繕工事・うぐいす橋)
事業費 924,000 円 (うち支援金: 616,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

市民の憩いの場となる森林空間整備が求められている。現在、市内にも憩いの空間となる森林空間があるが、木橋等の経年劣化が進んでおり、森林空間内の遊歩道としての安全性及び機能が低下している。

(2) 本事業の目的

((1) の課題への対応方向について記載)

森林空間内の木橋の修繕を実施することにより、市民の憩いの空間をより、安全または機能的に、利用できる場にできる。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 ぼんぼこ杉の森うぐいす橋

(2) 対象者 ぼんぼこ杉の森利用者

(3) 実施方法 うぐいす橋の修繕による整備

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和 3～令和 4 年度)

令和 3 年度以降は引き続き間山温泉公園森林空間整備事業等を実施予定。(林内車道不陸修繕・緩衝帯整備等)

②令和 3 年度実績

うぐいす橋の修繕

作業前



作業後



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

本事業を実施することで、森林空間内の利用にあたっての安全性や機能性を高めることができ、地域住民等がより快適に森林空間に触れ合うことができる。

また、近くには、市外からの来客があるぼんぼこの湯があり、そのため、より広域的に、当市外の方にも森林に触れ合う機会を提供できる。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

今年度、うぐいす橋の修繕を実施した後、引き続き、林内車道不陸修繕、緩衝帯整備等、さらなる整備を予定している。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

うぐいす橋の修繕を行うことで、より安全性や機能性が増し、かつ美しく整備された森林空間内の遊歩道等を市民等に提供できる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

森林空間の木橋修繕を実施したことにより、間山温泉公園森林内の遊歩道を保全することができた。

(2) 課題

間山温泉公園森林内に整備が必要な遊歩道は存在することから、今後も施業を行うことが望ましい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

森林公園内歩道橋修繕及び緩衝帯整備を予定。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	中野市
------	-----

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	中野市多目的森林公園再整備事業 (木橋修繕工事・ぼんぼこ橋)
事業費		915,200 円 (うち支援金: 426,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題
市民の憩いの場となる森林空間整備が求められている。現在、市内にも憩いの空間となる森林空間があるが、木橋等の経年劣化が進んでおり、森林空間内の遊歩道としての安全性及び機能が低下している。

(2) 本事業の目的
(1) の課題への対応方向について記載)
森林空間内の木橋の修繕を実施することにより、市民の憩いの空間をより、安全または機能的に、利用できる場にできる。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 ぼんぼこ杉の森ぼんぼこ橋
(2) 対象者 ぼんぼこ杉の森利用者
(3) 実施方法 ぼんぼこ橋の修繕による整備
(4) 事業目標及び当年度事業量
①全体計画 (令和 3 ~ 令和 4 年度)
令和 3 年度以降は引き続き間山温泉公園森林空間整備事業等を実施予定。(林内車道不陸修繕・緩衝帯整備等)
②令和 3 年度実績
ぼんぼこ橋の修繕

作業前



作業後



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

本事業を実施することで、森林空間内の利用にあたっての安全性や機能性を高めることができ、地域住民等がより快適に森林空間に触れ合うことができる。

また、近くには、市外からの来客があるぼんぼこの湯があり、そのため、より広域的に、当市外の方にも森林に触れ合う機会を提供できる。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

今年度、ぼんぼこ橋の修繕を実施した後、引き続き、林内車道不陸修繕、緩衝帯整備等、さらなる整備を予定している。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

ぼんぼこ橋の修繕を行うことで、より安全性や機能性が増し、かつ美しく整備された森林空間内の遊歩道等を市民等に提供できる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

森林空間の木橋修繕を実施したことにより、間山温泉公園森林内の遊歩道を保全することができた。

(2) 課題

間山温泉公園森林内に整備が必要な遊歩道は存在することから、今後も施業を行うことが望ましい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

森林公園内歩道橋修繕及び緩衝帯整備を予定。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)